

「地域運営組織」が相互に情報交換 ～ネットワークを構築～

1月29日、市内6つの地域運営組織が一堂に会し、活動状況などの情報交換や各組織間の連携を図る「地域運営組織ネットワーク会議」を開催し、今後も同様の機会を設けることを申し合わせました。



取材メモ

人と人のつながりは横のつながりだけでなく、親から子へ、子から孫へとつながる縦のつながりもあります。親やおじいちゃん、おばあちゃんが地域を大切にする姿、生きがいをもって生きる姿を見ることで、子どもたちは地域を大事にし、そして、地域を支える人材に育っていくのではないかと感じました。



移動支援

地域の福祉課題を話し合う「小地域ケア会議」の中で、高齢者支援の話が出た。見守りも大事だが、新しい前向きな取組を始めるべきと考え、「助け合い事業」として、ボランティア運送による移動支援と草刈りなどの生活支援を開始した。移動支援では、病院での受付から薬の受取までサポートする。これまでの地域活



熊野の将来を考える会
会長 森田 寿 さん

みんなで支え合い、

生きがいのある熊野を

動は、すべて完全なボランティアであったが、地域運営組織として「小規模多機能自治」に取り組む中で、有償ボランティアという考え方で取り組むこととし、大きな転換点となった。

今後は、子どもに対する支援をしっかりとやっていきたいと考えており、例えば放課後など子ども同士がいつでも集い交流できるように仕組みをつくりたいと思っている。

地域運営組織とともに、以前から「地縁団体」の認可を受けており、財産を保有している。旧熊野幼児園の園舎を貸し出し、家賃収入を得る取組を行っている。

『オール唐松』で未来へつなぐ



唐松まちづくり協議会
会長 藤澤 清 さん

以前から、地域内にある組織を一つにまとめようという話があり、地域運営組織の設立を機に整理した。関東方面から2組の移住者があり、外からの視点で積極的に活動に参加してくれている。空き家情報バンクの活用経験があり、現在は、協議会として、物件の把握や紹介など**空き家対策**に取り組んでいる。

また、子ども目線で地域の危険箇所を把握するよう**防災ウォークラリー**を開催し、その結果、横断歩道の設置が実現する見込みだ。

地域運営組織の活動には拠点が必要であり、旧唐松小学校の利活用についてアンケート調査を実施した。現在、市に要望しており、協議しながら**拠点施設の整備**を進めたい。

引き続き、**買い物支援**として移動販売車の誘致など、地域課題を解決しながら地域づくりに取り組むが、住みやすい地域になるには、3世代同居家族というのが鍵を握っている



横断歩道設置予定場所



防災ウォークラリー

ように思う。
事務所は、唐松公民館の一面を使用している。必要に応じて事務員が出向き事務を行っている。

声掛け合って心豊かに

生き活きと支え合う上熊谷を



支え合う上熊谷をつくる会
会長 山崎 護 さん

会の名称の一部である「支え合う上熊谷」をつくるには、共生社会を一緒につくっていくというみんなの意識改革が必要だと思う。組織の設立以降、各部会を積極的に行うようになった。出席率も高く、生き活きと取り組んでおり、地域の課題を自分事として考え、少し地域が変わってきつつあるなど実感している。

息の長い活動とするため、決して無理をしないようにお願いしている。取組がゼロではないが、できる範囲で少しずつ取り組みたいと思っている。

地域安全部会は、地域運営組織の立ち上げと同時に新設した自主防災組織を担当している。今年は、**地区別の避難計画を作る**こととして、地区委員が一軒一軒の避難行動をまとめ、集計しているところである。

福祉推進部会は、平日の**地域版の学童保育の開設**に向けた調査・研究

をしている。現在の長期休暇中のみの開設に加え、平日の放課後に地域で見守る体制を整えたい。また、社会福祉協議会の協力を得ながら**高齢者サロン**を実施している。

文化交流部会は、**塩山城を活用した山登り・情報発信、地域振興部会**は、県道沿いの**荒廃地を借りて、レンゲを植える**など「上熊谷まちづくり計画」に基づき、各部会が中心となって進めている。



荒廃地整備

いきいき足立

ふれあう心



足立地域振興会
会長 長谷川 勝 さん

足立は非常に小さなエリアで、限界集落もある中、もう一度、地域全体で取り組めるチャンスと捉え、自主防災会と同時に発足させた。

環境福祉部会は、足立地域自主防災会を担っており、平成30年の豪雨災害の傷跡が完全に癒えていない中、**防災備品の整備**や、将来に向けて自分たちが肌で感じる情報を基に**ハザードマップ**を作ろうと思っている。

また、一人ひとりの顔が見える人間関係があり、それぞれが置かれている状況、**困り事など記録する個人台帳**を作っていると考えている。

総務・地域振興部会では、地域の**名所旧跡の再発見**ということで、横穴式石室や滝100選に選ばれた2つの滝など、ドローンを活用した空撮で記録する事業に取り組んでいる。

また、昨年から水の不足で、一部地域が湧水により飲み水にも困る状況となった。公的な水道施設では

ないことから、振興会が、地域運営組織としてタンクで配達する活動を行った。今後のこともあり、市と協議している。



防災訓練

参加者の声

11月15日の防災訓練では、地元消防団員の指導の下、消火栓の放水・土のう作り・毛布による応急担架の作り方などを学習しました。近年の豪雨災害のこともあり、自主防災会活動は重要です。まさに「備えあれば憂いなし」で取り組んでいきたいと思います。

心と心で支え合う、

笑顔で創る田治部の未来



田治部みらい会
会長 安立 由輝 さん

少子高齢化が進む中にあっても、さらに住みやすく明るいまちとして次の世代につなげるため、5つの組織を整理統合し立ち上げた。

地域運営組織の設立により、たとえ人口が減っても、われわれの地域の未来を自分の手で作っていくことが可能になると考えている。

今年度中止した**防災訓練**の話し合いの中で、避難所にはタオルや毛布がたくさんあったらいいなという声があり、地域に呼び掛けたところ多くの提供があり地域の一体感を感じた。

また、地域の会合やサロンに活用してもらうため、地区内7カ所の**コミュニティハウスにストープを配置**した。

その他の話題として、平日の**放課後児童クラブ**が旧田治部小学校で新たに開設され6人が利用している。やはり、地域の拠点は旧小学校だと

思うので、これを機に、過去の**卒業写真**を拡大して**展示**するよう計画している。子どもの声が聞こえることで地域の元気につながっている。来年度は、「田治部地域まちづくり将来計画」に基づき、**地域にある財産を有効活用**することとして、大佐サービスエリアや丹治部駅などの活用や、活動拠点施設としての旧小学校の活用方法について検討していきたい。



地域の皆さんから提供されたタオルや毛布

『やっぱり千屋が好き！』人が集い合う千屋を



未来へつなぐ千屋野の里
やまぐち しひろ
会長 山口 歳弘 さん

できることからコツコツ取り組んでいこうと思っている。特に、30代から50代の若い世代をどんどん取り込んでいくことが将来につながると思う。

それぞれの地域の課題はさまざまだが、共通課題も多いと思う。定期的にこういう機会を設けることを提案する。

11月15日に「特産品うめえもん市」を開催し、わさびなど地域にある特産物を住民自ら再発見するいい機会となった。将来的にはこうした特産物を直売所で販売するような展開にもっていききたい。

子どもの支援として、千屋版の子ども見守り活動を千屋公民館で行っている。顔を知っているボランティア10人くらいが、交替で、放課後の子どもを受け入れており、働く親から非常に喜ばれている。

来年は、リニューアルオープンする千屋温泉と連携して、交流だけで

なく稼ぐ仕組みをつくっていききたい。



特産品うめえもん市



放課後の子どもの見守り

「地域運営組織」って何？

人口減少が進む中で、地域が元気になっていくためには、地域の人が地域のことを考え、共有しながら地域づくりを進めることが必要です。こうしたことから、市では、地域住民が主体となった住民自治（小規模多機能自治）の考え方により、地域の特長を生かした地域づくりや地域課題の解決などに取り組む「地域運営組織」について、地元振興会などを母体に設立を進めています。

市が行う3つの支援

① 人材

地域担当職員が、地域運営組織と市とのパイプ役として活動します。

設立に向けては、市福祉部職員や社会福祉協議会職員とともに推進チームを編成し、機運づくりや地域の将来計画の策定などを支援します。

② 活動資金

使途に必要な以上の制限を設けず、地域の将来計画に基づき、地域自ら使途を決めて活用することができるよう「小規模多機能自治一括交付金」を毎年交付します。

その他、組織が設立されるまでの試行的な取組を支援する「協働のまちづくり交付金」、設立後のコミュニケーションビジネスを支援する「自立促

進事業交付金」を用意しています。

③ 拠点施設

公民館や空き校舎、その他公共施設を有効活用するなど、拠点施設を確保することにより、活動しやすい環境を整備します。

地域運営組織設立までの流れ

- 1 機運の醸成
- 2 準備組織の立ち上げ（既存組織の役員会など）
- 3 将来計画案づくり
 - ① まちづくりアンケート（対象：中学生以上全員）
 - ② ワークショップ（対象：小学生以上）
- 4 組織構成・規約などの整備
- 5 設立総会

「地域共生社会推進チーム」が取組を支援！

【問い合わせ先】

総合政策課 ☎ 6143
ホームページでも随時情報更新中